

研修のねらい

- 政策情報を戦略的かつ効果的に発信する手順と手法を身に付け、実践の場で活用できるようにします。
- 理論と実践(事例紹介)、その実用化のためのワークショップという3構成で効果的に学びます。
- ブランディング、マーケティング、コミュニケーションのためのターゲティングを体系的に学びます。

政策実現には住民の理解と協力が不可欠です。そのために、政策情報を戦略的かつ効果的に発信する手順と手法を身に付け、一方的な情報発信ではなく、「伝わる」コミュニケーションを実践する必要があります。

この研修では、ビジネス的アプローチ、アカデミック的アプローチの両端から、ブランド構築のためのブランディング、マーケット開発のためのマーケティング、コミュニケーションのためのターゲティングを体系的に学び、それらを基に政策情報発信の設計図を作成します。さらに、グループ発表と講師講評を通して理解を深め、実践につなげます。

ビジュアル性に長けた研修素材(講義スライド、映像資料、配布資料等)により視覚と聴覚を刺激し、講義、ワークショップ、発表など、「聞く・語る・話す」のバランスを重視した研修です。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前	1. 自治体にとってブランドとは何か (1) 知覚品質と感覚品質 (2) ブランドデザイン、他 2. 自治体にとってマーケットとは何か (1) 市場開発と市場開拓 (2) 市場インサイトの見つけ方・つくり方 (3) ソーシャルマーケティングとターゲティング、他 3. 自治体にとってコミュニケーションとは何か (1) 共通アプローチと個別アプローチ (2) コミュニケーションの体系と公式 (3) 戦略的な媒体選定、他	
午後	4. 戦略のマーケティング・戦術のコミュニケーション (1) 戦略策定(ソーシャルマーケティング) (2) 戦術企画(行動科学的アプローチ) (3) 実践指導(コミュニケーションガイド) 5. 情報構築の仕方・コミュニケーション開発のポイント (1) マスメディアの活用方法 (2) ソーシャルメディアの活用方法	6. 政策情報発信の設計図をつくる <input type="checkbox"/> チーム内の方針検討 ◇ <input type="checkbox"/> 個人ワーク ◇ <input type="checkbox"/> チーム内の意思決定 ◇ <input type="checkbox"/> グループワーク ◇ <input type="checkbox"/> グループ発表・講師講評 ◇